

会議の概要

平成30年度 第2回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 大山小学校学校運営協議会

日時 平成30年6月26日（火）16:10～17:40

場所 大山小学校 2階図書室

進行 大山小教頭 相沢 周

1 開会のことば おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 後藤 みづほ

2 教育長あいさつ 大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎

- ・大山小学校の先生方、オープンスクールの準備等ありがとうございました。CS委員の皆様にも授業参観していただきありがとうございました。
- ・オープンスクール・学校運営協議会を開催して3年目（1サイクル3年）で締め年の年になる。
（県北教育事務所 主任指導主事）鈴木茂先生に話をさせていただいたところ、「とてもすばらしいやり方で、大玉のやり方を参考にさせていただく」と評価をいただいた。また今年の課題改善に向けての糸口となるヒントをもらうことができた。
- ・CS委員の方には学校評価が課題となっている。今年度のCS委員会で学校評価に関する研修会を計画していきたい。
- ・今年度1回目のCS委員会で熟議をしていただいた「村民スポーツフェスタ」の大きな道筋ができた。いろいろな課題を解決して動き出したのでご報告させていただく。
- ・平成16年に全国でCSが始まった。大玉村は平成23年にCSをスタートさせ、その時のCSの数は全国で789。今年は5432。その理由に法改正があり、CS設置が努力義務になったこと、もう一つの要因に、1学校につき1コミュニティ・スクールではなくても良くなったことがあげられる。高校が382校で317校増となっている。幼稚園の数は147園と少ないのが特徴であるが、大玉村は平成23年より行っている。
- ・教育フォーラムについて。今年で10回目。CS立ち上げの時にアドバイス等をいただいた貝ノ瀬滋先生をお招きして開催予定。
以上のことを報告させていただいた。今日はよろしくお願いします。

3 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会 会長あいさつ 会長 伊藤 和弥

- ・道徳の授業・分科会に参加させていただいた。道徳の教科化の時代がついにきた。おしつけにならないように、かつ、みんなの意見や自由な発想の両立が難しいと思った。分科会でも授業の進め方など見させていただいて、考えさせられた。
- ・社会にでてたくましく生きぬくため、生きるための授業であると聞いて重く感じた。
今日も短い時間ではありますが、話し合う内容がたくさんあると思います。よろしくお

願います。

4 自己紹介（オープンスクールの感想を含めて）

- ・各自自己紹介を行った。

5 協議

進行 大山小教頭 相沢 周

（１）オリエンテーション

（２）本校・園の教育活動について 及び 本日のテーマについて

大山幼稚園園長・大山小学校校長 渡辺 光太郎

- ・大山小学校と幼稚園では、教育目標「めざせ 夢に向かってがんばる子」を共通した教育目標としている。
- ・めざす児童像（幼児像）は以下の３点。
 - 進んで学習する（遊ぶ）子
 - なかよく助け合う（遊ぶ）子
 - 健やかでたくましい（元気に遊ぶ）子

教育活動の実践としては以下のとおり。

〔幼稚園〕

【自ら進んで遊ぶ子】

- ・興味関心が持てるように、そして主体的に活動できるように努めている。環境を整えると共に、十分に時間を確保しながら、考える力、表現する力を育成している。

〔園児の様子〕

3歳児：入園当初は砂遊びをしていたが、今では水を使った砂遊びへと進んでいる。

4歳児：5歳児の刺激を受けて、5歳児のまねをするなど4歳児なりの遊びが広がっている。

5歳児：これまでの経験を基にしながら、工夫した遊びを行っている。

【仲良く遊ぶ子】

- ・地域のボランティアの方々、子ども同士、小学生との交流など身近な人と関わる力の育成を図っている。じゃがいもの苗植えを地域のボランティアに来ていただいて教えてもらった。異学年交流会も実施している。

【元気に遊ぶ子】

- ・体を動かす遊びに親しむ環境の充実を図っている。園庭や小学校の校庭で遊んだり、近隣への散歩、プールも始まった。親子で楽しむ運動などを行った。
- ・地域の方とふれあう「ふれあいデー」を年に３回設けた。普段の園の活動に、地域の方に入ってもらおう。

〔小学校〕

- ・目指す児童像【進んで学習する子、仲良く助け合う子、健やかでたくましい子】
- ・昨年学校関係者評価をいただいたところから、課題をひろい今年度につなげていきたい。

【進んで学習する子】

- ・授業の充実。家庭学習の習慣化、家庭学習スタンダードなどの活用。読書指導にも力を入れていく。
- ・学びを支える学習基盤作りのために、家庭学習のてびきによる学習習慣の定着化を図る。
- ・読書指導も力を入れていきたい。

【仲良く助け合う子】

- ・自他のよさや違いに気付き認める心を育て、進んで周りの人や社会に関わる態度を育てるため、学級経営の充実にQ－Uなどを活用し充実を図る。
- ・道徳教育については、人権教育の視点を持ちながら授業の改善・充実を図っていきたい。
- ・自分の良さを自分で実感できるようになってほしい。
- ・他を思いやる心の醸成のために、地域素材の活用と体験活動の充実を図る。

【健やかでたくましい子】

- ・たくましい心身を育てるために、健康や安全に気を付けて安全に生活できる力を高める。
- ・やりぬく心の育成のために、めあてを持たせて取り組ませていく。やる気を引き出させていきたい。業間運動をうながし、家庭と協力して運動の習慣化を図っていきたい。
- ・基本的生活習慣の定着のため、アウトメディア、早寝早起き等進んで取り組みたい。
- ・具体的指導で危険回避・抑止の力を養えるようにしていきたい。

今後もおおたま学園と連携しながら教育を進めていきたい。

（３）グループ協議【３０分】

- ①意見（思い）を出す。（付箋を利用）《１０分》
- ②出た意見について付箋を貼りながら、方向性をもって話し合う。《２０分》

（４）グループ別協議内容の発表・共有【５分】

Aグループ（「学習」について）

テーマ ○自分で学習や生活を改善する力（自己マネジメント力）を身に付け、家庭学習を継続して行う大山の子どもを育てるために

～自ら学びに向かう力、積極性を身に付けさせたい！～

【家庭・保護者ができること・行いたいこと】

- ・子どもを見てあげる、話を聞いてあげる。関わってあげる時間の確保。

【地域・外部団体ができること・行いたいこと】

- ・預かり児童が多いので、放課後預かりでの学習ボランティアの活用。

- ・学校以外で学習できる場所・人の確保。

Bグループ（「仲良く」について）

テーマ○自分の良さ実感し、自信とやる気をもって生活できる大山の子どもを育てるために
～自分のよさを実感できるようになってほしい！～

【家庭・保護者ができること・行いたいこと】

- ・家庭で安心感を向上させることが大切。褒める、会話の場を持つ。
- ・家庭で必要とされている感（役割を持たせるなど）を感じさせる。
- ・いろんな体験活動に参加させる。
- ・学校を信用する。子どもの話だけを信用するのではなく、学校も信用してほしい。学校に批判的になると子どもは親と学校の間で板挟みになってしまう。

【地域・地域外部団体ができること・行いたいこと】

- ・地域のいろいろな行事（祭り等）に参加させ、親や先生以外の方に褒めてもらったり、叱ってもらったりする。
- ・実感するまで時間がかかるので繰り返しが大事。地道に根気強く関わる必要がある。

・Cグループ（「健やか」について）

テーマ ○よりよい生活習慣を身に付けた大山の子どもを育てるために
～よりよい生活習慣を身に付けさせたい！～

【家庭・保護者ができること・行いたいこと】

- ・生活習慣は家庭が基本なので、親にしっかりやってもらう。
- ・あいさつ、（夏休みは）ラジオ体操などをやるべきことをしっかりやらせる。

【地域・外部団体ができること・行いたいこと】

- ・学校評価アンケートでは、「テレビやゲーム」記載があるが、今はテレビやゲームだけでなく、スマートフォンやタブレットに費やす子どもが多くなってきている。中学1年生でも携帯電話（スマートフォン）の所持人数が多くなってきている。外部団体に頼んで保護者の勉強会を開く。
- ・みんなが走ったり遊んだりすることができる公園をつくる。
- ・ゲームをしない場所をつくる。

D・Eグループ 共通テーマ（大山幼稚園）

テーマ○心も体も健康な大山の子を育てるために
～3年保育のはじまり～

Dグループ

【家庭・保護者ができること・行いたいこと】

- ・子と親のふれあいの時間を確保。
- ・幼稚園の行事等に積極的に参加し、保護者同士が知り合いになることが大事。
- ・家庭でできる運動を親子一緒にする。

- ・朝ご飯が大切なので重要性を保護者に呼びかけていきたい。
- ・スマートフォンなどメディアに触れる機会が多くなってきている。メディアから絵本の方へ意識付けができるように呼びかけをしていきたい。

【地域・保護者ができること・行いたいこと】

- ・公園をつくることに大賛成である。
- ・地域の子どもを知ることが大事である。
- ・夏祭りや冬祭りなどを通して地域の方と子どもたちがふれあい、関わりを持つことを大切にしている。
- ・園外保育時の引率を地域の方をお願いする。

E グループ（心も体も元気な大山の子を育てるために〈幼稚園〉）

【家庭ができること・行いたいこと】

- ・親の意識改革をする。
アウトメディアデー等行っているが親がメディアから離れられないのではないかな。
遊び場に行っても、子どもが施設に遊んでもらって、親と一緒に遊ぶという機会がないのではないかな。
- ・家庭の中で役割（手伝いをさせる）を持たせる。子どもたちは楽しんで手伝いをするのもっともっと手伝いをさせ、家族の一員、家族の役に立っている、必要とされているという気持ちを育てる。
- ・早寝、早起きなどの生活習慣をきちんと身に付けてもらう。
- ・SNS を使って遊び場の共有もよいのではないかな。
- ・親同士が仲良しだと子どもたちをよくみていただけるのではないかな。
- ・家庭に呼びかけても届かない家庭もあり、それが課題。

【地域・外部団体ができること・行いたいこと】

- ・運動が得意なボランティアの方々に来ていただいて教えてもらう。
- ・子どもが集まって遊べる場所作り。環境整備も含めて。
- ・地域の方にあたたかい言葉を子どもたちにかけてもらいたい。

6 講評（伊藤会長）

- ・オープンスクール、分科会、協議会と参加して、CS 委員からは分科会は（内容が専門的で）難しくてわからないという声があった。参観・見学できるように教室の後ろに椅子を用意していただくと気軽に参加できるのではないかな。
- ・先生方は本当によく勉強していて、勉強している先生をさらに指導する先生がいるというのは本当にすごいことだなと感心させられた。
- ・CS が関われること、関われないことがあるが、とりあえず話を聞けばためになることばかりなのでぜひ参加してほしいと思った。

7 御礼のことば・今後に向けて 大山幼稚園園長・大山小学校校長 渡辺 光太郎

- ・熟議ありがとうございました。時間がもっとあっても足りないぐらい話が盛んになった。ありがとうございます。
- ・子どもたちの課題、実態を少しでも皆さんと共有して話し合っただけの意義は大きい。いただいたいろいろなご意見、アイディアをよりよく生かしていきたいと思う。本日はありがとうございました。

8 閉会のことば おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 武田 伸一



～小グループに分かれ、大山の子どもの課題について熟議しました。～